

エムケイ株式会社様に対する サステナビリティ・リンク・ローン第一号案件取り組みについて ～京都ゼロカーボン・フレームワークを活用し、脱炭素化をアシスト～

2023年3月31日

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、エムケイ株式会社様に対し、サステナビリティ・リンク・ローンを取り組みましたのでお知らせいたします。

エムケイ株式会社様では、タクシー・ハイヤーの全車 ZEV 化（電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）などのゼロエミッション・ビークル）を進めておられ、2050年までに、二酸化炭素排出実質ゼロに取り組むなど、環境面への取り組みを積極的に進めておられます。

サステナビリティ・リンク・ローンとは、SPT（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）の達成に応じて金利優遇等のインセンティブを付与する融資のことです。当金庫が資金協力するサステナビリティ・リンク・ローンは今回が初の取り組みとなります。

京都ゼロカーボン・フレームワークとは、京都府が地域金融機関等とともに ESG 投融資（サステナブルファイナンス）を促進し、府内企業の脱炭素化を支援する全国初の仕組みであり、2023年1月に構築されました。

CO₂排出量削減目標の達成により金利優遇を受けられる融資契約において必要な第三者評価に、京都府地球温暖化対策条例に基づく特定事業者制度を準用することで、審査に要する費用が不要になるものです。京都府や金融機関へのレポートイングを通して、中小企業の CO₂排出量削減を金融面からアシストする仕組みとなっています。

記

【概要】

借入人	エムケイ株式会社
ローン種別	サステナビリティ・リンク・ローン
資金用途	運転資金
K P I	府内事業者の事業活動から排出される CO ₂ 排出量の削減
その他	京都ゼロカーボン・フレームワーク

【エムケイ株式会社様の脱炭素の取り組み概要】

- ・タクシー・ハイヤーの全車 ZEV 化（電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）などのゼロエミッション・ビークル）を進めておられます。
- ・2025年に保有車両の30%をZEVとし、2030年までに全車ZEVを達成することを目指すことを、全国のタクシー会社で初めて掲げられました。
- ・既に2021年9月に自社運営のLPガススタンドを営業終了、LPガスのタクシー専用車は2022年2月に使用終了。保有車両はEV、HV、PHV、低燃費ガソリン車で、EVは2023年3月29日現在で64台（7%）を保有。車種はリーフ、サクラ、IONIQ5、BMW i7、BMW iX。180kw級の急速充電器を本社や営業所に11基設置。
- ・京都市の「2050京（きょう）からCO₂ゼロ条例」に賛同し、社業を通じてCO₂排出削減に取り組まれます。「京都市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」に参画され、EV化やサステナブルツーリズム、EV修学旅行といった面から京都ならではの地域脱炭素モデルの創出に貢献されます。



当金庫 専務理事 安川 淳史（左） エムケイホールディングス株式会社 代表取締役 青木信明氏（右）

以上